

ARIBの動き

情報通信月間参加行事
「電波の日記念講演会」開催迫る

「電波の日記念講演会」が迫ってきました。プログラムをご紹介します。ご期待ください。

1 日時 平成17年6月10日(金) 13時10分から16時まで(開場12時40分)

2 場所 明治記念館「富士の間(1)」
(東京メトロ青山一丁目又はJR信濃町)

3 プログラム

講演1 「基調講演」

総務省 総合通信基盤局 局長 有 富 寛一郎 氏

講演2 「ユビキタス時代のモバイルビジネス」

株式会社NTTドコモ 代表取締役社長 中村 維夫 氏

講演3 「モバイル放送が創る新しいライフスタイル」

モバイル放送株式会社 代表取締役社長 溝口 哲也 氏

講演4 「映像が広げるユビキタス・ネットワーク社会」

株式会社東芝 取締役代表執行役社長 岡村 正 氏

4 詳細 (<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/ust/general.cgi>) を参照ください。

5 問合せ先 社団法人電波産業会 企画国際部 川勝、木村
TEL : 03-5510-8592

第109回技術委員会(放送分野)が開催される

第109回技術委員会が開催されましたので、その概要をお知らせいたします。

1 日時 平成17年5月25日(水) 午後2時から3時50分まで

2 場所 当会第1会議室

3 議事概要

- (1) 事務局から、4月20日に米国において開催されたARIB/ATSC定期会合の概要について報告があった。
- (2) 事務局から、ITU-R SG6ブロック会合及びITU-T SG9会合等への対応を中心に、放送国際標準化ワーキンググループの活動について報告があった。
- (3) デジタル放送技術国際普及部会(DiBEG)から、DiBEGの主催により3月28日～4月1日にブラジルで開催された地上デジタル放送セミナーについて報告があった。
- (4) 事務局から、アナログ周波数変更対策業務について、業務の進捗状況の報告があった。
- (5) 事務局から、当会の平成17年度事業スケジュールの報告があった。
- (6) 次回の技術委員会(放送分野)は、平成17年7月27日(水)午後2時から開催することになった。

**IT技術の活用で放送番組制作現場が変わる！
「UMID解説書」及び「MXF規格の解説」頒布のお知らせ**

近年のIT技術の進歩はめざましく、放送局のオペレーションにも大きな影響を与えています。これまでテープやストリーム形式で行われていた番組素材の交換も、ネットワークを介しファイル形式で行うことが可能となっており、将来、放送局の運用がネットワークを中心にした形態に移行していくことが想定されます。

当会のスタジオ設備開発部会では、そのために有用な技術と考えられるMXF^{*1}とUMID^{*2}を取り上げ、多くの方の理解の一助となるよう解説書としてまとめました。ご活用ください。

ご購入は、[ARIBホームページ \(http://www.arib.or.jp\)](http://www.arib.or.jp) の「頒布図書」、またはFAX (03-3592-1103) にてお申込みください。

「UMID解説書」 頒価1,281円 好評頒布中

「MXF規格の解説」 頒価2,226円 6月中旬頒布開始予定

*1 MXF (Material eXchange Format)

SMPTEにおいて規格化 (SMPTE-377M他) されている映像、音声、メタデータのファイル交換フォーマット。圧縮形式に依存せず、ストリームからファイルへの段階的な移行も考慮されている。

*2 UMID (Unique Material Identifier)

SMPTE-330Mとして規格化されている番組素材の識別子。認証機関への登録など必要なく、素材が発生した時点で、自動的にグ

ローバルユニークに発生できる特徴を持つ。

素材収録日時・位置等を格納するメタデータとして活用も可能である。

電気通信／放送行政の動き

平成17年度電波利用保護旬間の実施 守って！電波のルール・不法電波は迷惑だ！

平成17年6月1日(水)から6月10日(金)までは、「電波利用保護旬間」です。総務省は、「守って！電波のルール」「不法電波は迷惑だ！」をキャッチフレーズに、電波利用に関する周知・啓発活動を集中的・重点的に行うとともに、不法無線局の取締りを強化することにより、不法無線局による被害から正しく無線局を運用している電波利用者を保護し、良好な電波を効率よく利用できる電波利用環境の整備を推進します。

詳細は、以下のURLを参照ください。

< http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/050513_3.html >



(高島礼子)



(桜庭和志)

平成17年度電波利用環境保護用ポスター

「戦略的情報通信研究開発推進制度」 平成17年度成果発表会開催のお知らせ

総務省は、「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」の平成15年度及び16年度に終了した43件の課題について、成果発表会を開催しますので、お知らせします。

1 日時 平成17年6月13日(月) 9時30分から17時45分(開場9時)

2 場所 都市センターホテル

千代田区平河町2-4-1 <http://www.toshicenter.co.jp/>

成果発表 6階「601」、「606」

ポスターセッション5階「オリオン」

3 プログラムの概要

(1) 開会あいさつ(9:30～9:35)

(2) 基調講演(9:35～10:05)

「ユビキタス社会の成熟に向けた情報通信R&D戦略」

プログラムディレクター（国立情報学研究所副所長）東倉洋一氏

(3) 成果発表(10:10～16:10) 2会場にて、各5セッション、計43件

(4) ポスターセッション(16:10～17:45。ポスター展示は12:00～)

4 参加申込方法

参加無料。定員は2会場とも80名程度（座席がない場合は立見となります）。参加ご希望の方は、6月6日(月)までに事務局(seika@scat.or.jp)宛にEメールでお申込みください。

標題を「SCOPE成果発表会申込み」とし、「氏名及び読み仮名」、「勤務先又は所属団体名」、「電話番号」、「聴講予定セッション（例：セッション1。（複数可））」を明記してください。

5 申込・問合せ先

(財)テレコム先端技術研究支援センター内 SCOPE成果発表会事務局

成果発表の詳細内容等は、< http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/050518_2.html >を参照ください。

「情報家電ネットワーク化に関する検討会」の開催

総務省及び経済産業省では、近年急速に普及している情報家電のネットワーク化をより一層推進するため、共同で「情報家電ネットワーク化に関する検討会」を開催します。

1 背景・目的

情報家電は急速に普及しつつありますが、これまでのところ、そのネットワーク化が進展していないため、情報家電機器相互間の接続や情報流通は不十分な状況にあります。

本検討会は、日本における情報家電のネットワーク化推進のための課題を明らかにし、メーカー、通信事業者、ソフトウェア事業者、電力事業者等の民間事業者と大学等の有識者が協力して、情報家電ネットワーク化の加速化の方途を検討することを目的として開催するものです。

2 検討事項

(1) 期待される活用の分野と将来像

- (2) リナックス等のOSSの普及促進策
- (3) 端末・機器デバイス等の技術開発のあり方
- (4) 電子タグやセンサーとの連携
- (5) 利用者保護、セキュリティ対策などのあり方
- (6) ユーザー・リテラシーのあり方
- (7) 実証実験のあり方
- (8) 相互利用可能な規格のあり方
- (9) その他の課題

3 スケジュール

平成17年5月18日（水）から開催し、平成17年6月に中間取りまとめを行う予定です。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/050513_2.html>を参照ください。

デジタル時代のラジオ放送の将来像に関する懇談会 報告書（案）に対する意見募集の実施

総務省では、平成16年9月22日から「デジタル時代のラジオ放送の将来像に関する懇談会」（座長：林敏彦放送大学教授）を開催し、デジタル時代における地上ラジオ放送の基本的役割、多メディア・デジタル時代の地上ラジオ放送のビジネスモデル等発展方策や、これらを踏まえた地上ラジオ放送の将来像について検討を行ない、今般、同懇談会において「デジタル時代のラジオ放送の将来像に関する懇談会報告書（案）」がとりまとめられました。6月10日（金）午後5時（必着）を提出期限として、同会報告書（案）に対する意見を募集しています。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/050520_2.html>を参照ください。

欧州電気通信／
放送の動き

CSA、デジタル・ラジオ公聴会を開始 【Le FIG-ECO,2005/04/27】

CSA（仏視聴覚最高評議会）は、デジタル・ラジオ放送に関する公聴会を開始する。業界関係者は、6月30日までに、これまでに仏で行なわれたデジタル・ラジオ実験の評価に関するCSAからの30の質問に対し回答を提出する。CSAでは、業界関係者からの回答を待って、デジタル・ラジオ免許入札を開始するか

どうかを決定する。デジタル・ラジオは、一部の欧州諸国では既に放送が開始されているが、仏では、まだ実験段階にある。

CSA、地上デジタル放送の新8チャンネルを選定

【www.csa.fr,2005/05/10】

CSA（視聴覚最高評議会）は5月9日、地上デジタルテレビの無料放送4チャンネル[BFM（経済情報専門局）、ガリバー（青少年向け局）、IMCM（音楽局）、Iテレ（ニュース専門局）]及び有料放送4チャンネル[カナルJ（青少年向け局）、カナルプリュス・シネマ（映画専門局）、カナルプリュス・スポーツ（スポーツ専門局）、プラネット（ドキュメンタリー専門局）]の計8チャンネルを選定した。

高速鉄道「タリス」で大容量ネット接続サービス開始

【Les Echos,2005/05/11】

パリ・ブリュッセル間を結ぶ高速鉄道「タリス」でこのほど、走行中の車内で高速インターネット接続サービスを提供する試験運用が開始された。イスパノサット衛星を利用して接続を確保、受信で4Mbps、送信で2Mbpsの大容量通信を実現する。車内には、IEEE802.11g規格の無線LANを展開、乗客は自分のパソコンを使って無線で接続できる。

サービスは今のところ1列車のみであるが、試験運用中につき無料で提供、説明員の配置やノートパソコンの無料貸与サービス等を併せて行なっている。この実験運用には、ESA（欧州宇宙開発局）が費用の50%を拠出、システムの運用には英国の21ネット社があたっている。

編集後記

鮎釣りの季節になりました。

飛び鮎の底に雲ゆく流かな 鬼貫

[ページの先頭に戻る](#) ▲